

【人間文化研究科 教育ファシリテーション専攻】ディプロマ・ポリシーに示された「力」とアセスメントの方法・指標

研究科専攻	課程	DPに示された「力」	アセスメントの方法・指標
教育ファシリテーション専攻	M	DP1：学習者を理解するための知識と能力	修士論文審査後に、審査委員会において修士論文におけるDP1の達成度について評価を行い、修士論文に関する成果を把握・分析する。
		DP2：学びのための環境づくりに必要な知識と能力	修士論文審査後に、審査委員会において修士論文におけるDP2の達成度について評価を行い、修士論文に関する成果を把握・分析する。
		DP3：学習者へ効果的な介入（働きかけ）を行うための知識と能力	修士論文審査後に、審査委員会において修士論文におけるDP3の達成度について評価を行い、修士論文に関する成果を把握・分析する。

方法・指標	実施時期	対象年次	結果の活用	レベル※
授業評価アンケート	春学期末および秋学期末	修業年限内の 全年次生	専攻で実施し、アンケート結果を研究科委員会で承認し、教育方法、研究環境の改善に活用している。内部質保証委員会からのメタ評価と改善提案も同様に活用している。	学位プログラム レベル／授業科目レベル
研究倫理教育プログラム受講実績	入学時（以降、3年に1度）	初年次	研究推進課が実施し、受講実績を大学院委員会および内部質保証委員会で報告して、研究公正の実現に活用している。	学位プログラム レベル／授業科目レベル
学位論文計画書	8月または1月	修了年次生	研究科委員会で共有することで、研究指導の改善に活用している。	学位プログラム レベル／授業科目レベル
学位論文	1月または7月	修了年次生	専攻のDPの達成度の評価に活用している。	学位プログラム レベル／授業科目レベル

※学位プログラムレベル：研究科専攻単位で実施 / 授業科目レベル：教員単位で実施